

平成 28 年 5 月 16 日

日本看護系大学協議会 「平成 28 年熊本地震」被災大学被害報告

一般社団法人 日本看護系大学協議会
災害支援対策委員会

2016 年 4 月 14 日に発生した「平成 28 年熊本地震」は、震度 7 を 2 回記録する上に 1000 回を超える余震が続き、多くの方々が被災し、不自由で不安な日々を過しております。日本看護系大学協議会災害支援対策委員会は、被害状況把握と支援内容の検討のため、災害発生後 10 日目となる 4 月 25 日（月）26 日（火）に被災大学の訪問をさせて頂きました。訪問大学は、熊本保健科学大学、熊本大学、九州看護福祉大学の 3 校です。教職員の皆様には、大変ご多忙な中、対応していただき感謝いたします。

各大学の被害状況は異なりますが、以下の通りご報告させていただきます。

【学生・教員の被害】

- ◇ 学生の安否は直後に全員無事と確認し、県外学生は帰省させた。避難所で生活する学生や避難所でボランティア活動をしている学生がいる。家屋の被害状況や避難所での生活状況の詳細は、大学再開時に確認する予定である。教科書が濡れて使い物にならなくなった学生や揺れの恐怖で、アパートに入れられない学生もいる。心の問題等は長期的になっていくため、今後検討を行う予定である。
- ◇ 教職員の被害は、負傷者数名、全壊あるいは半壊した者も複数名いる。教員の中には路上生活・車中生活を行っている者、避難所でボランティア活動を行っている者もいる。大学に出てきている教員は、災害対策会議と講義再開に向けた片づけ作業に追われている。
- ◇ 教員室の本棚は積み重って倒れ、物品は落下・破損した。

【授業関係】

- ◇ 連休明けから授業再開する予定である。
- ◇ 4 月半ばから領域実習が始まる予定であったが、震災のため中断している。できなかった分は 8 月の夏休みや実習終了後に延長して行う予定であるが、実習施設の被害が大きく、実習の受け入れが不可能な病院もあるため、他の病院での実習を検討中である。
- ◇ 実習施設の被害状況が不明な段階であるため、今後、更に実習施設の確保と実習調整に困難が予想される。実習施設変更の届け出などの制約で、実習に支障をきたさないか心配である。
- ◇ 教員室の棚が破損し教科書や本が使用できない。また、コンピューターやプリンターも破損し、授業の準備に困難をきたしている。
- ◇ 非常勤講師にも被害が出ているため、今後、講義調整も必要になってくる。

【建物など被害】

- ◇ 大学の一部の建物の天井が落下し、入室できない状況になっている。
- ◇ 外壁や内壁に亀裂、床に段差がある。
- ◇ 本震の際、洗濯機が転がるほど揺れて、水道と洗濯機の接続が外れ実習室と下の階の教員室が水浸しとなった。
- ◇ ライフラインは、復旧したが、水が濁っており、使用用途は限られている。

以上